

阪堺電車の日常 vol.268



羽衣国際大学の学生によって映像化



羽衣国際大(堺市西区)の放送・メディア映像学科の学生が監督を務める、オムニバスドラマ「阪堺電車」の撮影が始まった。タイトルの通り、舞台となるのは大阪市内と堺市を結ぶ阪堺電車。同大の学生4人がメガホンを取り、何気ない日常に巻き起こる人間模様をユニークに描いていく。

「阪堺電車」制作のきっかけとなったのは、おととし12月に行われたワークショップだった。堺市内の高校生が考案した6本のシナリオを、堺親善大使を務める脚本家の今井雅子さんが1つのオム



オムニバスドラマ「阪堺電車」

ニバスドラマとしてまとめた。監督する学生は、制作プロデューサーを務める同大の村上清身教授(現代社会学部放送・メディア映像学科)が、自身の授業を受講している学生とゼミ生から選抜した。また、同大の演劇部や同大と協力関係にある専門学校の学生、堺市が公募したオーディションで選ばれた人々が出演する。

作品は8月5日にクランクインを迎える。営業時間中の阪堺電車の車両を使い、撮影が開始された。ドラマの撮影は今回が初めてだったという宮城成伶(みやぎ・せれな)さん(同大・3年)は「実際に走る電車の中で、限られた時間内に撮影するのが大変だった」と監督した感想を話す。これから撮影に臨む川端見歩さん(同大・3年)は、「私が監督する『利休の相談室』という話では、主人公の女性の心の変化が描かれている。ドラマを見た人に、自分も変わろうと思ってもらえる作品になれば」と意気込みを語る。

現在は撮影の真っ最中。完成予定日の来年2月21日には、同大の講堂で無料の上映会を行い、堺市のホームページでも公開する予定だ。(聞き手＝三鍋百代)

UNN 関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>
■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUS は

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
阪大 POST 通信社

関西大学タイムス編集部
神戸学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 CLOCK 編集部
の共同編集による週刊フリーペーパーです